

帯江幼稚園

◎人権教育講演会 6月6日(土)



『子どもが輝く子育てのコツ』

講師:元小学校長 小田 和男先生

土曜参観日に合わせて講演会を開催しました。小田先生は、講演の中で、「子育ては幼児期が一番大切。子育ての時間は短いので本気で子どもたちと向き合ってほしい。子どものよいところをしっかり見る。子ども一人ひとりが子育ての教科書。それぞれの子どもの成長を楽しもう。親の見る目が変われば子どもも親も変わる。子どもが輝くのは笑顔でいること。人に褒められ、認められる。そして、人間らしく生きること。日々感謝の気持ちをもって生きよう。」など、子どもが輝く子育てのコツを教えてくださいました。

小田先生は、講演だけでなく、保護者が保育参観している様子や子どもの活動の様子を見てくださり、保護者に参観の仕方についてアドバイスをしてくださいました。子どものよいところや頑張っているところ、成長しているところをしっかり見て、参観メモに書くように助言を受け、保護者もいつも以上に我が子の様子をしっかり見て、一生懸命参観メモに書いていました。子どものよいところを書いたあとに、「うれしかった」「感動した」など、そのときの保護者の素直な気持ちを付け加え、家に帰って、その参観メモを子どもに読んで聞かせました。そのときの様子や講演を聴いての感想の一部は、次のとおりです。

「もっと言って。もっといいところない？」と、我が子がうれしそうに何度も言ってきた。

我が子に、「うれしい。ありがとう。」と言われ、涙が出そうになった。

我が子が涙ぐんで、「ママ、大好き。」と言ってくれた。

子どものよいところを見つけるという目線がなかったら、今日のように子どものよさが発見できなかった。

よいところを見つけようと思っで見ていると、褒めるところがいっぱいある。

他の子と比べず、本人なりの頑張りが成長を褒めることが大切。

褒めることで子どもは大きく変わる。自分も大きく成長したい。

二度とないこの大切な成長の日々を見過ごさないようにしたい。

よいところを探すのは、自分の気持ちも温かくしてくれる。

これからも、寝る前にその日見つけた我が子のよいところを伝えるようにしていきたい。

天城幼稚園

◎人権教育講演会 6月13日(土)

感想

あいさつがきちんとできる子、「ありがとう。」「ごめんなさい。」も素直に言える子、相手を思いやる心遣いのできる子に育てていきたいと思いました。

講師の先生が自分の子育ての経験も話してください、その中の「過保護の子育ては未来がない。」という言葉が印象に残りました。子どもにとって一番の環境は家庭なので、これからの子育てを頑張っていきたいです。

『すてきな子育てはすてきな出会いから』

—その一言で子どもが変わる—



講師:岡山大学大学院教育学研究科特任教授 妹尾 一道先生

多津美中学校

◎人権教育講演会 6月6日(土)

講師:岡山大学大学院教育学研究科特任教授 妹尾 一道先生



『心は見えないけれど...』
—あなたにしかできない心遣い—

■保護者の感想

■本日はありがとうございました。妹尾先生の優しい言葉の中に、日々忘れかけていた人としてとても大切なことを、改めて考え直すことができました。

思いやり、心遣い、働くことの大きな意味など、本当は親から子どもへ伝えられれば一番良いと思いますが、なかなかできずにいると反省しました。自分自身も、今一度大切なことを思い返すことができました。

■とても心あたまるお話、ありがとうございました。数々の心に響く名言も印象に残っております。先生のやさしい声と、語りに引き込まれていきました。その中でも、「人のためにつくす、見返りを求めない」「出会いが運命を形づくる」「実行して初めて知識と認められる」など、とても印象に残りました。今後も、今ある自分自身、生かされていること、仕事があることに感謝し、出会いを大切に、いろいろなことに挑戦していきたいと思えます。

◆生徒の感想

◆一番悲しいことはウソをつくこと。私もあてはまることの一つとしてしっかり聞けたと思います。トモニーの人たちは、みんなで協力し、毎日を送っていたことを見て、私も笑顔を忘れないようにしたいと思っています。「悪口を先に言う一番にそれを聞く私だから」というのはとても共感できました。

◆心がきれいになった気がする。思いやりを大切に。最近友だちに優しくしてもらったばかりだったから、それにつながった気がする。思いやりには思いやりを返してあげたい。この一生で出会う一人一人を大切にしていこう。最近ふざけているから、そこをなおして思いやりのある人になる！

◆生きている中で一番幸せなことを、先生は「働くこと」「仕事をする」とおっしゃっていました。最初それを聞いた時、「そんな訳ないだろう。」と思ってしまいました。私にとって「仕事」とは、忙しくてめんどろなものと印象づいていたからだと思います。でも、仕事というのは、「この人なら、これができるだろう」「この人なら、これをやりとげってくれるだろう」という「仕事を与える人」からの信頼があってこそ、行えるものだと初めて知りました。もしくは、知っていたけれど、私は忘れていたのだと思います。今知ったこの幸せを、行動に表していきたいと思います。これから先、働くことから目をそむけず、精一杯生きて「幸せ」というものをつかんでいきたいです。

◆「働くこと」が幸せとは思っていませんでしたが、先生のお話により納得でき、働くことを大切にしていきたいと思えるようになった。今まで障がいをもっている人を冷たい目で見ているが、その気持ちも変わった。とてもよい講演会だった。

天城小学校

◎人権教育講演会 6月27日(土)



講師:環太平洋大学次世代教育学部教育経営学科特任教授 平松 茂先生



『今知ってほしいネットの世界』



土曜参観日ということもあって、5・6年生の児童約200名と保護者・地域の方約160名が参加しました。

ネットトラブルとは...
・知らない人とつながって
・個人情報が見えちゃう
・ネットいじめ
・ネット依存

今では、当たり前になっているネット世界。“想像すること”により、ネットトラブルを防ぐということ、映像を見ながら、子どもたちと一緒に考えました。